

1. 平成 28 年度に機構が実施した大学機関別選択評価について

1 評価の目的

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（以下「機構」という。）は、国・公・私立大学からの求めに応じて、大学の教育研究活動等の状況に関して、機構が定める事項ごとに実施する「大学機関別選択評価」（以下「選択評価」という。）を、大学の個性の伸長に資するよう、以下のことを目的として行いました。

- (1) 機構が定める選択評価事項に関して、大学の活動を評価し、その評価結果を各大学にフィードバックすることにより、各大学の教育研究活動等の改善に役立てること。
- (2) 大学の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、公共的な機関として大学が設置・運営されていることについて、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

2 評価の実施体制

評価を実施するに当たっては、国・公・私立大学の関係者及び社会、経済、文化等各方面の有識者からなる大学機関別認証評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置し、その下に、具体的な評価を実施するため、選択評価事項専門部会を編成し、評価を実施しました。

選択評価事項専門部会には、大学の教育分野やその状況が多様であること等を勘案し、対象大学の学部等の状況に応じた各分野の専門家及び有識者を評価担当者として配置しました。

3 評価プロセスの概要

※ 評価は、おおむね以下のようなプロセスにより実施しました。

(1) 大学における自己評価

大学は、「自己評価実施要項」に従って、自己評価を実施し、自己評価書を作成しました。

(2) 機構における評価

① 選択評価事項ごとに、自己評価の状況を踏まえ、その評価事項に関わる大学が有する目的の達成状況等について評価を実施しました。

なお、選択評価事項は、いくつかの内容に分けて規定されており、これらを踏まえ基本的な観点が設定されていますが、目的の達成状況等については、その個々の内容ごとに行うのではなく、「基本的な観点」の分析状況を総合した上で、選択評価事項ごとに行いました。

② 取組が優れていると判断される場合や、改善の必要が認められる場合等には、その旨の指摘も行いました。

③ 評価結果については、「目的の達成状況が極めて良好である」、「目的の達成状況が良好である」、「目的の達成状況がおおむね良好である」、「目的の達成状況が不十分である」の4段階で記述し、公表しました。

4 評価方法

評価は、書面調査及び訪問調査により実施しました。書面調査は、「評価実施手引書」に基づき、大学が作成した自己評価書（大学の自己評価で根拠として提出された資料・データ等を含む。）の分析、及び機構が独自に調査・収集した資料・データ等に基づいて実施しました。訪問調査は、「訪問調査実施要項」に基づき、書面調査では確認できなかった事項等を中心に調査を実施しました。

5 評価のスケジュール

(1) 機構は、平成27年5月から6月にかけて、国・公・私立大学の関係者に対し、大学機関別選択評価の仕組み、方法等について説明会を実施するとともに、自己評価担当者等に対し、自己評価書の記載等について説明を行うなどの研修を実施しました。

(2) 機構は、平成27年7月から9月にかけて申請を受け付け、最終的に以下の8大学の評価を実施することとなりました。

- 国立大学（1大学）
埼玉大学（B）
- 公立大学（6大学）
前橋工科大学（B）、京都府立大学（B）、大阪府立大学（A・B）、福山市立大学（A・B）、九州歯科大学（B）、大分県立看護科学大学（A・B）
- 私立大学（1大学）
桜美林大学（C）

(3) 機構は、平成28年6月に、評価担当者が共通理解の下で公正、適切かつ円滑にその職務が遂行できるよう、評価の目的、内容及び方法等について評価担当者に対する研修を実施しました。

(4) 機構は、平成28年6月末に、対象大学から自己評価書の提出を受けました。

※ 自己評価書提出後の対象大学の評価は、次のとおり実施しました。

28年7月	書面調査の実施
8月	選択評価事項専門部会の開催（書面調査による分析結果の整理、訪問調査での確認事項及び訪問調査での役割分担の決定）
10月～12月	訪問調査の実施（書面調査では確認できなかった事項等を中心に対象大学の状況を調査）
12月	選択評価事項専門部会の開催（評価結果（原案）の作成）

(5) 機構は、これらの調査結果を踏まえ、平成29年1月に評価委員会で評価結果（案）を決定しました。

(6) 機構は、対象大学に対して評価結果（案）に対する意見の申立ての機会を設け、平成29年3月の評価委員会での審議を経て最終的な評価結果を確定しました。

6 評価結果

平成28年度に選択評価を実施した大学の評価結果は、次のとおりとなりました。

- 選択評価事項A
 - ・ 目的の達成状況が極めて良好である：1大学
 - ・ 目的の達成状況がおおむね良好である：2大学
- 選択評価事項B
 - ・ 目的の達成状況が極めて良好である：2大学
 - ・ 目的の達成状況が良好である：5大学
- 選択評価事項C
 - ・ 目的の達成状況が極めて良好である：1大学
 - * 「国際的な教育環境の構築」について一般的な水準から卓越している：1大学
 - * 「外国人学生の受入」について一般的な水準から卓越している：1大学
 - * 「国内学生の海外派遣」について一般的な水準から卓越している：1大学

7 大学機関別認証評価委員会委員及び専門委員（平成29年3月現在）

(1) 大学機関別認証評価委員会

浅原利正	広島県病院事業管理者
荒川正昭	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター長
アリソン・ビール	オックスフォード大学日本事務所代表
稲垣卓	福山市立大学長
及川良一	国立音楽大学教授
荻上紘一	前大妻女子大学長
片山英治	野村證券株式会社主任研究員
川嶋太津夫	大阪大学教授
下條文武	新潟大学名誉教授
近藤倫明	北九州市立大学長
○佐藤東洋士	桜美林学園理事長・桜美林大学総長
鈴木賢次郎	東京大学名誉教授
土屋俊	大学改革支援・学位授与機構教授・幹事
中島恭一	富山国際大学長
野嶋佐由美	高知県立大学副学長
濱田純一	放送倫理・番組向上機構理事長
早川信夫	日本放送協会解説委員
古沢由紀子	読売新聞東京本社論説委員
前田早苗	千葉大学教授
柳澤康信	岡山理科大学長
山極壽一	京都大学総長
山本健慈	国立大学協会専務理事
山本進一	岡山大学理事・副学長
◎吉川弘之	科学技術振興機構特別顧問
吉田文	早稲田大学教授

※ ◎は委員長、○は副委員長

(2) 大学機関別認証評価委員会選択評価事項専門部会

川 口 昭 彦	大学改革支援・学位授与機構顧問
○ 栗 本 英 和	名古屋大学教授
◎ 近 藤 倫 明	北九州市立大学長
高 田 隆	広島大学理事・副学長
土 屋 俊	大学改革支援・学位授与機構教授・幹事
永 田 敬	大学改革支援・学位授与機構研究開発部主幹
永 津 雅 章	静岡大学教授
○ 二 宮 皓	比治山大学・比治山大学短期大学部 学長
○ 野 嶋 佐由美	高知県立大学副学長
濱 口 哲	新潟大学理事・副学長
○ 廣 嶋 康 裕	大学改革支援・学位授与機構特任教授
三 上 喜 貴	長岡技術科学大学理事・副学長
山 本 泰	大学改革支援・学位授与機構特任教授

※ ◎は部会長、○は副部会長

※ 上記評価部会の委員のほか、選択評価事項Aにおいて書面調査を担当した委員

青 山 秀 明	京都大学教授
明 石 博 臣	東京大学名誉教授
秋 山 哲 男	中央大学教授
秋 山 博 臣	宮崎大学教授
浅 見 豊 子	佐賀大学教授
阿 部 珠 理	立教大学教授
荒 谷 康 昭	横浜市立大学教授
石 田 誠	豊橋技術科学大学特別顧問
石 原 昭 彦	京都大学教授
磯 祐 介	京都大学教授
板 村 裕 之	島根大学教授
伊津野 真 一	豊橋技術科学大学学長特別補佐
稲 垣 美智子	金沢大学教授
稲 村 隆 夫	弘前大学教授
位 田 晴 久	宮崎大学名誉教授
内 山 靖	名古屋大学教授
鵜 沼 英 郎	山形大学教授
蝦 名 敦 子	弘前大学教授
大 森 裕 實	愛知県立大学教授
大和田 浩 子	山形県立米沢栄養大学健康栄養学部長

小川清美	東京都市大学教授
奥住秀之	東京学芸大学学長補佐
尾畑裕	一橋大学教授
門田光司	久留米大学教授
北本勝ひこ	日本薬科大学特任教授
鬼頭誠	琉球大学教授
神田陽治	北陸先端科学技術大学院大学教授
後藤澄江	日本福祉大学総合研究機構長・社会福祉学研究科長
近藤敏啓	お茶の水女子大学教授
坂井俊樹	東京学芸大学教授
佐々木利廣	京都産業大学教授
佐藤繁	岩手大学教授
佐藤徹	東京大学教授
佐野誠	奈良教育大学副学長
佐野充	日本大学教授
佐野靖	東京藝術大学教授
佐野有司	東京大学教授
塩路昌宏	京都大学大学院エネルギー科学研究科長
清水裕之	名古屋大学教授
白井淳資	東京農工大学教授
杉山誠	岐阜大学教授
鈴木真二	東京大学教授
須田治	首都大学東京名誉教授
善野修平	前橋工科大学地域連携推進センター長
高木都	奈良県立医科大学名誉教授
田近栄治	成城大学特任教授
田中美智子	福岡県立大学教授
田辺隆也	茨城工業高等専門学校教授
谷崎久志	大阪大学教授
塚田泰彦	筑波大学教授
柘植尚志	名古屋大学教授
土屋俊幸	東京農工大学教授
友枝敏雄	大阪大学教授
豊田浩孝	名古屋大学教授
長澤五十六	福岡教育大学教授
中島登代子	常葉大学教授
中谷武雄	元 京都橘大学教授
中出文平	長岡技術科学大学副学長
中野綾美	高知県立大学看護学部長
中村敏也	弘前大学教授

永目 諭一郎	日本原子力研究開発機構先端基礎研究センター副センター長
西口 正通	愛媛大学名誉教授
西崎 滋	岩手大学教授
西平 賀昭	筑波大学名誉教授
西村 幹夫	基礎生物学研究所特任教授
新田 克己	東京工業大学教授
萩原 一郎	明治大学特任教授
長谷川 正俊	奈良県立医科大学教授
氷 鮑揚四郎	筑波大学教授
久本 憲夫	京都大学教授
平岡 公一	お茶の水女子大学教授
廣光 一郎	島根大学大学院総合理工学研究科長
藤井 智史	琉球大学教授
藤井 義晴	東京農工大学教授
本庄 恵子	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科長
真木 寿治	奈良先端科学技術大学院大学教授
松崎 寛	筑波大学准教授
松原 仁	公立ほこだて未来大学副理事長
三浦 章	熊本県立大学教授
水島 多喜男	徳島大学教授
峰岸 真琴	東京外国語大学教授
宮岡 礼子	東北大学総長特命教授
向井 康比己	大阪教育大学副理事・副学長
村上 明美	神奈川県立保健福祉大学教授
柳原 光芳	名古屋大学教授
山田 明	東京工業大学教授
山中 正紀	北海道大学教授
湯浅 恭正	中部大学教授
湯澤 正通	広島大学教授
吉田 和生	名古屋市立大学副学長
吉本 敦	統計数理研究所教授
米澤 久幸	中部大学教授
渡 孝則	佐賀大学教授